

SSL/TLS 中継サーバソフトウェア 「EDI-Master B2B TLS-Accelerator」の新バージョンを販売開始 ～大規模対応、セキュリティ機能を強化～

キヤノンマーケティングジャパングループのキヤノン IT ソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：金澤 明、以下キヤノン ITS）は、「全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）」に対応した SSL/TLS 中継サーバ「EDI-Master B2B TLS-Accelerator」及び新オプション「EDI-Master B2B TLS-Accelerator Extension Pack」を、2020年4月13日より販売開始します。

2024年のINSネット（デジタル通信モード）提供終了にともない、電話回線を使った従来型 EDI を利用している企業は、インターネット EDI への移行を余儀なくされます。このような中、一般社団法人全国銀行協会（全銀協）は、「全銀手順」や「全銀 TCP/IP 手順」などの電話回線を使った従来型 EDI に替わる通信手順として、インターネット対応の新たな通信手順「全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）」を2017年5月に制定し、移行促進を図っています。

このような中、インターネット EDI への急速な移行拡大により、サービスベンダーやサーバ側の企業などの大規模 EDI システムを構築する企業においては、接続相手先が増大している傾向があります。また、金融業などのセキュリティに厳しい企業では、クライアントからの接続時にクライアント証明書だけではセキュリティ上不安であるとして、従来の全銀 TCP/IP における電話番号認証のような多要素認証が求められていました。

これらの課題を解決するため、「EDI-Master B2B TLS-Accelerator」の新バージョンでは、大規模なシステムへの対応、セキュリティ機能の強化に対応しました。これまでの32接続から最大128接続まで拡張することで、さらに大規模なシステムでの利用が可能になります。また、新オプション製品「EDI-Master B2B TLS-Accelerator Extension Pack」の導入により、全銀センターコードなどの複数のパラメータ^{*1}を条件として、不正な通信元からのアクセスを拒否するフィルタリング機能を利用でき、多要素認証が可能となります。

今後、キヤノン ITS は「EDI-Master シリーズ」を中核とする EDI ソリューション事業で、2025年までに年間売上高25億円を目指します。製造業、金融業、小売・流通業、医薬品業、サービス業などさまざまな業界、業務における「EDI-Master シリーズ」の導入ノウハウをもとに、パッケージ販売のみならず、システム構築から導入・運用支援にいたるまで EDI システム全般をサポートし、目前に迫るインターネット EDI への移行を強力に支援していきます。

^{*1} 全銀センターコードや全銀パスワード、相手先 IP アドレス、クライアント証明書をパラメータとしてフィルタリングが可能

<価格>

製品名	標準価格（税別）	発売予定日
EDI-Master B2B TLS-Accelerator V1.1	Windows 版：200,000 円～ Linux 版：600,000 円～	2020 年 4 月 13 日
EDI-Master B2B TLS-Accelerator Extension Pack	Windows 版：1,000,000 円 Linux 版：1,500,000 円	2020 年 4 月 13 日

- 報道関係者のお問い合わせ先：企画本部 事業推進部 コミュニケーション推進課 03-6701-3603
- 一般の方のお問い合わせ先：EDI ソリューション営業本部 東日本営業部 03-6701-3457
- EDI-Master ホームページ：<https://www.canon-its.co.jp/solution/edi/>
- キヤノンニュースリリースホームページ：[canon.jp/newsrelease/](https://www.canon.jp/newsrelease/)

<Extension Pack のフィルタリング機能>

